

## ルーマニア デジタルガバナメント戦略 6 月

### 1. 背景

#### ・基本データ:

ルーマニア(羅: România)は、東ヨーロッパ、バルカン半島東部に位置する**共和制国家**。首都はブカレスト。南西にセルビア、北西にはハンガリー、北がウクライナ、北東をモルドバ、南にブルガリアと国境を接し、東は黒海に面しています。

国土の中央をほぼ逆 L 字のようにカルパティア山脈が通り、山脈に囲まれた北西部の平原のトランシルヴァニア、ブルガリアに接するワラキア、モルドバに接するモルダヴィア、黒海に面するドブロジャの 4 つの地方に分かれています。

**国土面積:** 約 23.8 万平方キロメートル(日本の本州とほぼ同じ。)

**人口:** 約 1,919 万人(2021 年 ルーマニア国家統計局)

**首都:** ブカレスト(人口約 216 万人 2022 年 1 月ルーマニア国家統計局)

**言語:** ルーマニア語(公用語)、ハンガリー語

**宗教:** ルーマニア正教、カトリック

**民族:** ルーマニア人(83.5%)、ハンガリー人(6.1%)など

**政治体制:** 共和国

**議会制度:** 二院制(上院 136 議席、下院 330 議席)、任期 4 年

**実質 GDP 成長率:** 4.48(%) (2018) 4.13(%) (2019) △3.90(%) (2020)

**主要産業:** サービス業(58.1%)、工業(21.8%)、建設業(6.4%)、農林・水産業(4.1%) (2019 年、出典:ルーマニア国家統計局)

**GDP:** 約 2,487.2 億米ドル(2020 年、出典:IMF)

**一人当たり GDP:** 12,868 米ドル(2020 年、出典:IMF)

### 2.戦略 1.デジタルガバナメント体制づくり

紙の行政システムをデジタルの行政システムにする(デジタル化)。

[National Strategy on Digital Agenda for Romania](#)

[September, 2014](#)

2014-2020

開発分野 1.

電子政府、相互運用性、サイバーセキュリティ、クラウドコンピューティング、オープンデータ、ビッグデータ・ソーシャルメディア

開発分野 2. 教育、健康、文化、e インクルージョンの ICT 化

開発分野 3 e コマース、ICT の研究開発・イノベーション

開発分野 4. ブロードバンド、デジタルサービスインフラ

## 国家戦略

ルーマニアのデジタルアジェンダに関する国家戦略は、ICT 分野を直接の対象としており、ルーマニアの ICT を効果的に発展させる直接的な行動と支援、およびルーマニアの公共部門の効率化とコスト削減、国家との関係における行政的障壁の軽減による民間部門の生産性向上、ルーマニアとその周辺の労働力の競争力強化などの間接的な行動によって、ルーマニアの経済成長と競争力強化に貢献することを目指しています。

欧州の経済復興を支援するため、特にスマートで持続可能な経済成長を確保し、社会的包摂を促進するために、欧州連合はデジタル単一市場の発展を主目的とする「欧州 2020 年デジタルアジェンダ」を作成しました。

欧州デジタルアジェンダが設定した目標のうち、ルーマニアの現在の状況に関連し、2014 年から 2020 年までのルーマニア ICT の戦略的ビジョンに合致するものを取り上げ、適応させました。この活動の目的は、ルーマニアの ICT 開発を地域内の国々が記録したレベルと一致させ、ヨーロッパのデジタル単一市場における ICT の面でのルーマニアの統合の前提を確立することです。

2010 年に提出された EU の今後 10 年間の成長戦略「Europe 2020」は、欧州の成長モデルの欠点に対処し、よりスマートで、より持続可能、より包括的な環境の条件を整えることを目指しています。この戦略は、2020 年までに EU が目指すべき姿について、5 つの主要な共通目標パラメータを概説している。

1. 雇用 - 20-64 歳の 75%が雇用されること
2. 研究開発-EU の GDP の 3%を研究開発に投資する。
3. 気候変動とエネルギーの持続可能性
4. 教育 - 30~34 歳の 40%以上が第三段階の教育を修了すること
5. 貧困と社会的排除との闘い - 貧困と社会的排除の状態にある、またはその恐れがある人々が少なくとも 2,000 万人減少する。これらの目標は、相互に強く関連しあい、補強しあうものと考えられており、EU の各加盟国の国家目標に変換された。ルーマニアの場合、これらは以下のように描かれています。

## 3.戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価

開発方針のチェック 2020

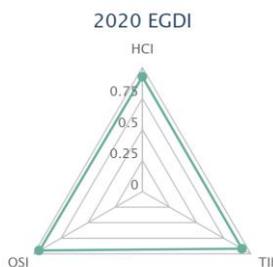
国連 [E-Government Survey](#) (E-Government Development Index)

193ヶ国中 69位、トップグループ(HEGDI)

3つの指標値(世界のトップ国を 1.0000として):

- ① [OSI\(Online Service Index\)](#) オンラインサービス指標: 0.8588 → 国連事務局独自の調査と各国からのアンケート回答に基づき算出
- ② [HCI\(Human Capital Index\)](#) 人材指標: 0.9001 → UNESCO(国際連合教育科学文化機関)のデータより算出
- ③ [TII\(Telecommunications Infrastructure Index\)](#) 通信基盤: 0.8005

第1表 ルーマニアの指標



1	2020 Romania	2020	2018	2016
2	E-Government Development Index rank	55	67	75
3	E-Government Development Index value	0.7605	0.6671	0.56114
4	E-Participation Index rank	46	69	60
5	E-Participation Index value	0.8095	0.7079	0.62712
6	Online Service Index value	0.7235	0.6597	0.45652
7	Telecommunication Infrastructure Index value	0.7586	0.5471	0.45329
8	Human Capital Index value	0.7995	0.7944	0.77361

図2 国連のDG評価

#### 4.戦略3:オープンデータの活用を図る

[OPEN GOVERNMENT PARTNERSHIP ROMANIA](#)

[NATIONAL ACTION PLAN 2020- 2022](#)

オープンガバメント ルーマニア

一般規定

#### 5.戦略4:膨大な政府のすべての定型データをAIで活用する

[Artificial Intelligence \(AI\) in Romania](#)

#### 6. 戦略5: 政府のサービスやミッションがいつでもどこでも使える 5G

AIと対話する社会基盤を構築する

[Romania](#)

Main points

- ルーマニアにおける5G導入のための国家戦略
- マルチバンド5Gオークションは2021年第2四半期に再延期
- 2019年6月に[RC&RDS](#)と[Vodafone](#)が、2019年11月にOrangeが5Gの開始を予定

[通信における管理と規制のための国家機関\(ANCOM\)](#)は、2018年5月から6月にかけて、5Gの周波数に関するパブリックコンサルテーションを開始しました。

ANCOM は、2018 年 11 月 20 日から 12 月 21 日にかけて、「[ルーマニアにおける 5G 導入のための国家戦略](#)」に関するパブリックコンサルテーションを開始しました。

2018 年 12 月、ルーマニアの規制当局である [ANCOM](#) は、2019 年の行動計画に関するコンサルテーションを実施しました。[ANCOM](#) の社長である Sorin Grindeanu 氏はプレスリリースで、5G サービス向けの 700 MHz、800 MHz、1500 MHz、2.6 GHz、3.4 - 3.6 GHz 帯のオークションを主要プロジェクトにすると述べています。

2020 年 12 月、ANCOM は 2021 年の行動計画を発表し、2021 年 1 月 4 日までにコメントを求めた。同計画では、マルチバンドオークションを 2021 年第 2 四半期に再延期することに言及している。

#### [700MHz/1500MHz/2600MHz/3400-3800MHz](#)

2019 年 6 月、[ANCOM](#) は 700 (703-733/758-788MHz および 738-753MHz SDL)、800 (2 × 5MHz FDD)、1500 (40MHz SDL)、2600 (2 × 40MHz FDD) および 3400-3800MHz (90MHz TDD 有効期間 2020-2025、400MHz TDD 有効形態 2026) の周波数で 2019 年 10 月末までに周波数オークションを行う計画を発表しました。2019 年 7 月、オークションプロセスの技術的な詳細を議論するためのコンサルテーションが発行されました。ライセンスは 2020 年 6 月 20 日から有効であるべきです。

ルーマニアの規制当局は、2019 年 8 月に 5G コンテストの条件案を発表した。この手続きには、候補者が追加の周波数を取得するための第 2 段階(オークション)の前に、事業者が任意のコミットメントのための周波数ブロックを取得できる第 1 段階が含まれる予定です。

2019 年 11 月、オークションは 2020 年 3 月に再延期され、2020 年 3 月に再び 2020 年第 4 四半期に処理が延期された。2020 年 9 月、[ANCOM](#) のトップは、オークションが当初の目標であった 2019 年 12 月から再び延期され、2021 年第 2 四半期に再スケジュールされる可能性があるかと伝えました。

26.5~27.5GHz 帯

## 7.戦略 6: Covid-19 に対応

コロナの緊急事態(テレワーク)が AI との共生社会を促進する

### [COVID-19: Romania will end state of alert and start lifting pandemic restrictions](#)

ルーマニア当局は、COVID-19 の大流行による警戒態勢を 2022 年 3 月 8 日以降に延長しないことを、クラウス・イオハニス大統領が 3 月 4 日(金)に発表しました。

[2020 年 3 月中旬、ルーマニアで COVID-19 のパンデミックの第一波が発生し、大統領は非常事態を発令しました。2020 年 5 月、非常事態は警戒態勢に代わり、現在まで延長されています。](#)警戒態勢により、政府はパンデミックを管理するために様々な制限を実施することができました。

“COVID-19 ”の流行は、わが国では加速度的に減少傾向にあり、第 5 波が終わろうとしている。したがって、この状況の管理に関する新たな決定、つまり将来に大きな影響を与える決定を下す時が来た」と、イオハニスは [3 月 4 日の報道発表](#) で述べています。

COVID-19 ルーマニアは警戒態勢を解除し、すべての規制を解除。

## [COVID-19: Romania exits state of alert and lifts all restrictions](#)

09 March 2022

Irina Marica

更新: ルーマニア政府報道官 [Dan Cărbunaru](#) は水曜日、ルーマニアに入国する旅行者は依然として [乗客位置確認書 \(PLF\)](#) の記入が必要であると述べました。「PLF に関しては、GEO 129/2021 が廃止されるまで、引き続き必要であります。[G4media.ro](#) によると、「ルーマニアに入国する人は記入しなければならない」と述べました。

当初の話。ルーマニア当局は、3 月 8 日以降、警戒態勢を延長しないことを決定し、COVID-19 の流行に伴い国内で課されていたすべての制限を解除した。したがって、例えば、3 月 9 日付でマスクの着用が義務づけられなくなり、レストランやショッピングモールへのアクセスにグリーンパスが不要になった。

ルーマニアが警戒態勢を導入したのは、約 2 年前の 2020 年 5 月。これにより、当局はパンデミックの 5 つの波を管理するために、さまざまな制限を実施することができました。

内務省は 3 月 8 日、警戒状態の延長に関する最新の政府決定が 3 月 9 日から無効となったことを発表しました。「したがって、午前 0 時から、すべての制限が解除されるとともに、当該規範的行為に規定されている特定の活動の制限または禁止も解除される」と同省の [プレスリリース](#) には書かれています。

更新: ルーマニア政府報道官 Dan Cărbunaru は水曜日、ルーマニアに入国する旅行者は依然として [乗客位置確認書 \(PLF\)](#) の記入が必要であると述べました。「PLF に関しては、GEO 129/2021 が廃止されるまで、引き続き必要である。ルーマニアに入国する人は必ず記入しなければならない」と述べたと [G4media.ro](#) は伝えています。

当初の話。ルーマニア当局は、3 月 8 日以降の警戒態勢をもはや延長せず、COVID-19 の流行に関連して国内で課されたすべての制限を解除することを決定しました。したがって、たとえば、3 月 9 日付でマスクの着用が義務づけられなくなり、レストランやショッピングモールへのアクセスにグリーンパスが不要になりました。

ルーマニアでは、約 2 年前の 2020 年 5 月に警戒態勢を導入しました。これにより、当局はパンデミックの 5 つの波を管理するために、さまざまな制限を実施することが可能となりました。

内務省は 3 月 8 日、警戒態勢の延長に関する最新の政府決定が 3 月 9 日から無効となったことを発表しました。「したがって、午前 0 時から、すべての制限が解除されるとともに、当該規範的行為に規定されている特定の活動の制限または禁止も解除される」と、同省の [プレスリリース](#) には書かれています。

ルーマニアの学校ではフェイスマスクの着用が義務付けられなくなりました。

### [Face masks no longer mandatory in Romanian schools](#)

つまり、今日からオープンスペースでもクローズドスペースでもマスク着用が義務づけられなくなり、公共機関、ショップ、モール、イベントへの入場もグリーンパスが不要になりました。さらに、屋内での文化、科学、芸術、スポーツ、レジャーなどの活動も制限なく行えるようになりました。また、学校も全国で再開されます。

旅行者はグリーン証明書なしでルーマニアに入国することができます。しかし、この措置は他の国でも有効であるため、当局は、他の国へ旅行する前に公式情報を確認するよう促しています。ルーマニアの学校ではフェイスマスクの着用が義務付けられなくなりました。

また、ルーマニアに入国する旅行者は、[乗客位置確認書\(PLF\)](#)の記入が不要になり、COVID-10 証明書を持たない旅行者は検疫が不要になりました。

[アレクサンドル・ラフィラ保健相](#)は 24 日、ルーマニアでは依然としてウイルスが地域感染で広がっていると強調し、閉鎖空間ではマスクを着用し続け、人混みを避けるよう勧告しました。また、病院は全面的に活動を再開し、COVID の特別医療部門はなくなるだろうと述べたと [Biziday.ro](#) は報じています。

ルーマニアでは、パンデミック開始以来、COVID-19 の感染者が約 278 万人、死亡者が 64,000 人以上登録されています。[3 月 8 日の公式報告](#)によると、24 時間以内に 5,461 人の新規患者が報告され、その多くはブカレスト(1,464 人)で、火曜日の発症率は 13.99 であったと報告されています。